

## 令和元年度 障がい者就労支援に係る重点的な取組について

### 1 宇都宮市優先調達推進方針【拡充】

#### (1) 目的と取組経過

平成25年4月に施行となった、国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律を受け、本市では、民間を率先垂範し事業所で就労する障がい者の工賃向上につながるよう、障がい者が就労する事業所からの物品や役務の調達目標について定めた「宇都宮市障がい者優先調達推進方針」を毎年度策定している。

方針策定に当たっては、障がい者優先調達推進会議で目標額や推進方法の検討を行い、また、推進に当たっては、各部局に配置した推進員が調達の協力依頼を行うなど、全庁を挙げて積極的に取り組んできた。

#### (2) 平成30年度調達実績

- ・ 調達目標額 【公費で直接発注するもの】 10,000千円
- ・ 調達実績額 【公費で直接発注するもの】 11,604千円（過去最高）

##### 【主な要因】

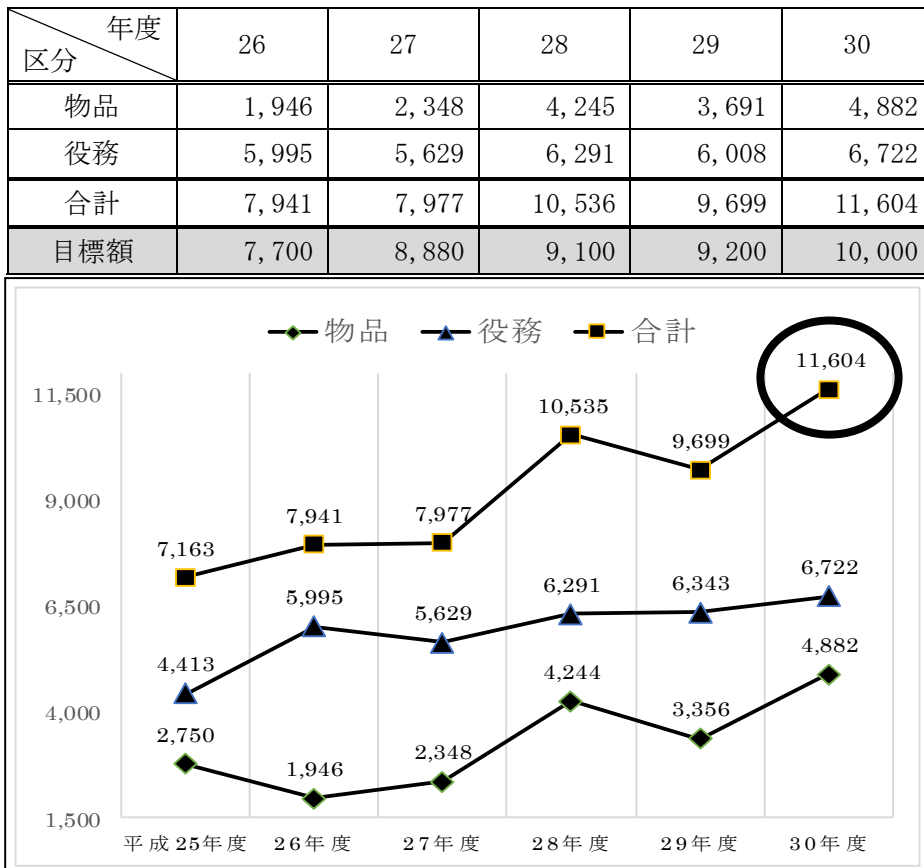
LRT啓発のための缶バッジ（766千円）、消費生活センター周知用クリアファイル（702千円）の新規調達によるもの

#### (3) 令和元年度調達目標

- ・ 調達目標額 【公費で直接発注するもの】 10,000千円  
【本市が事務局を担う実行委員会や各種協議会等で発注するもの】  
1,800千円・・・【拡充】※

※ これまでの取組に加え、障がい者の更なる工賃向上に向け、新たに、イベント等の市が運営する実行委員会や各種協議会等についても、調達目標額1,800千円を設定し、優先調達の推進を強化する。

【参考】本市の調達実績推移（過去5年間）（単位：千円）



## 2 福祉的就労業務開拓・マッチング事業の実施【新規】

### (1) 目的

障がい福祉サービス事業所が行う役務の受注拡大の活動を支援することにより、障がい者の就労及び工賃水準の向上を図り、もって障がい者福祉の増進に寄与する。

### (2) 事業概要

#### ア 企業等からの下請け業務の開拓

- ・ 市内の企業を対象に、助言や提案を行いながら、企業に業務を切り出してもらえよう営業活動を行う。

#### イ 下請け業務に関する障がい福祉サービス事業所の受託調整

- ・ 企業から発注された業務について、障がい福祉サービス事業所の受注能力に応じて分配する。
- ・ 一つの事業所が受注しきれない業務については、複数の事業所が共同して受注できるよう調整する。

#### ウ 企業等と障がい福祉サービス事業所の契約締結までのフォローアップ

- ・ 契約締結のフォローのほか、月次訪問を行いながらフォローアップを行う。

#### エ 障がい福祉サービス事業所の工賃向上に向けた支援・助言

- ・ 「企業を対象とした福祉サービス事業所見学会」  
⇒ 福祉サービス事業所における作業の様子を企業に見てもらい、福祉サービス事業所への業務のアウトソーシングを促進する。
- ・ 「福祉サービス事業所を対象とした企業の見学会」  
⇒ 企業が発注したいと考えている業務の様子を福祉サービス事業所に見学してもらうことで、福祉サービス事業所が取り組む業務の幅を拓げる。
- ・ 「企業と福祉サービス事業所へのアンケート結果を基にした勉強会」  
⇒ 企業と福祉サービス事業所に実施するアンケート結果を基にした福祉サービス事業所の勉強会を開催する。

### (3) 委託先

C D P フロンティア株式会社(特例子会社) ※公募型プロポーザルにより決定

【参考】市内の就労継続支援B型事業所の平均工賃月額推移

年度	20	21	22	23	24	25
平均工賃月額(円)	11,838	10,161	10,712	11,661	12,584	13,368
年度	26	27	28	29	30	
平均工賃月額(円)	14,485	15,413	16,293	17,255	17,381	